

## 関西財界セミナー賞 大賞受賞

### Grand Prize Winning “KANSA ZAIKAI SEMINAR Award 2014”

2014年2月6日(木)、7日(金)の2日間にわたり、京都国際会館にて関西経済連合会と関西経済同友会の共催で、「新たな成長の実現 ～今こそ関西から新しい力で変革を～」をメインテーマに約580名が参加して行われた第52回関西財界セミナーにおいて、当社は、「第10回 関西財界セミナー賞2014 大賞」を受賞しました。

- ①長年にわたる粉体技術一筋の取り組みから開発される最先端ニーズに応える製品や技術は、独自性が高く、ものづくり産業を支える不可欠な存在となっている点、
- ②身の回りの様々な製品に当社技術が活用され、様々な産業における新製品開発に貢献している点、
- ③グローバル展開によって、日本だけではなく世界のものづくりに貢献している点が評価されました。

同賞は、関西において、優れた技術やビジネスモデルを持ち、独自性を活かして関西の活性化に貢献している企業・団体・個人などを表彰するもので、今回で第10回を数えます。

当セミナーでは、「新しい成長の実現に向けた課題への対応」、「変わるアジアの競争環境と企業・関西の挑戦」、「人・企業を呼び込む魅力あふれる関西づくり」など、6つのテーマを掲げ、分科会形式で活発な議論が展開されました。

当社が参加した「ダイバーシティ(多様性)の推進」分科会では、日本の経済成長に不可欠な多様な人材の活用、特に女性の活躍に焦点を当て、女性が働きやすい社会は誰にとっても働きやすい社会であるという観点からダイバーシティを捉え、女性の活躍を阻害する

本質的な原因を洗い出し、女性が働き続け、活躍できる社会・職場の実現方策について、①なぜ、「女性の当り前の活躍」は進まないのか、②女性が活躍する社会・職場実現に向けて必要なものは何かについて具体的に論議されました。その結果、女性が活躍する社会の実現には、先ず若手の長時間労働を削減することで家事を分担できる環境を作ることが不可欠であり、女性が働き続ける上で障害とされる「3つの壁」(復職の壁、第1次反抗期の壁、小1の壁)を克服できる制度を企業や政府が導入し、4つの「ヨウ」(容:幅広く受け入れる、用:活用する、要:要職に登用する、養:育成環境を整備する)を実現していくことが肝要であると結論付けました。

また、これら6つの分科会討議の結果から、同セミナーは、新たな成長を実現するには、新しい力が必要であり、本来関西が有する多様な地域の力や民間の力など人材の活力を呼び覚まし、次の成長を創造する。また、アジアの新しい可能性を見出し、その力を取り込む。こうした変革を通じて関西から新たな成長を実現し、日本経済の再生を力強く牽引していくために、①関西の強みを活かしたイノベーションの推進、②国土強靱化の促進、③KANSAIブランドの強化・発信の3点に重点をおき、実現の足がかりを築くことをセミナー宣言に採択し、閉会しました。

当セミナーでの討議や宣言、表彰内容は、日本経済新聞や朝日新聞など、新聞各紙でも紹介され、関西経済界のみならず、日本、アジアの経済界や政界へも少なからず影響力を持つものと思われます。今回の大賞受賞は、当社の業績に直接貢献するものではありませんが、公益経済団体から高い評価を得たことによる企業の信用力やブランド力、社員が自信や誇りを持って働ける企業価値の点で意義は大きいと考えます。